

「私の担当科目は内容が難しく、なかなか学生に興味をもってもらえない」

「学生のやる気が低いので、どれだけ授業を工夫しても報われない」

授業の成立には教員、学生、学習環境の三要因が影響を及ぼしています。たとえ学習環境の改善や教員の授業方法の向上を行っても、受講生の学びを直接コントロールすることはできません。同じ授業を受けてもある学生は多くのことを学び、他の学生は何も学ぶことはなかったと言うかもしれません。

受講生の学習動機は非常に多様であり、各授業時にはポジティブな学習動機もネガティブな学習動機も併せ持っていると考えられます。本講演会では、学習動機の多様性を把握した上で、教員としてどのような対応をすべきかについてお話しします。

多様な学習動機

への対応 講演会

2017.7.21 金

16:45 - 18:15

北海道大学情報教育館 3階
スタジオ型多目的中講義室

16:15 受付開始

16:45 講演

「多様な学習動機への対応」

高等教育研修センター特任准教授 山本堅一

18:15 終了

お問い合わせ・お申し込み

北海道大学高等教育推進機構 高等教育研修センター

<https://ctl.high.hokudai.ac.jp/>  ctlhokudai@high.hokudai.ac.jp  011-706-7472



北海道大学
高等教育研修センター